

【多機能型事業所】
児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援
し ん ぽ

心羽にこにこキッズ 支援プログラム

作成年月日：令和 7 年 3 月



SEISHIN GROUP

社会福祉法人 清心福祉会



療育理念



みんなの笑顔で育てよう！



「発達の木」

～子どもの得意を実らせ輝く未来へ～

お子様・保護者様・スタッフみんなが笑顔で成長できるカリキュラムを提供致します。





療育支援方針

◆5 領域（※）を目的としたカリキュラム療育を実施し、総合療育指導を実施します。

※5 領域とは

「健康・生活」心身の健康や生活に関する領域

「運動・感覚」運動や感覚に関する領域

「認知・行動」認知と行動に関する領域

「言語・コミュニケーション」言語・コミュニケーションの獲得に関する領域

「人間関係・社会性」人との関わりに関する領域

◆子どもの社会的自立を目標に保護者様および関係機関と連携を図ります。



感覚統合療育

～バランスのとれた発達～

子どもの発達と感覚の発達～感覚の刺激から始まる発達プロセス～

- ① 生活や遊びを通して、触れたり様々な動きをする中で感覚器から情報を吸収する。
- ② 感覚器から吸収された情報が脳で適切に処理をされる。
- ③ 様々な感覚器から吸収された情報が交じり合い、相互作用が始まる。
※この相互作用のことを『感覚統合』という。
- ④ 感覚同士が相互に作用（感覚統合）しあうことでバランスよく発達する。感覚統合が上手くいかないとアンバランスになり、その後の発達に凸凹がでやすくなる。



発達の木

- ・目で見たところに正確に手が行く
- ・視知覚
- ・言語のコミュニケーション
- ・目的行動

- ・自分の体をイメージする
- ・注意の持続
- ・慣れない運動を組み立てる
- ・情緒の安定

- ・姿勢を保つ
- ・バランスをとる
- ・目の動き
- ・筋緊張
- ・食事
- ・触覚的な心地よさ

根っこの力

学習・運動
社会性に繋がる力

- ・集中力
- ・自尊心
- ・判断
- ・自信
- ・コミュニケーション
- ・自己抑制
- ・抽象思考
- ・教科学習能力

根っこの力の土台になる発達の要素③

器用さ
(目と手の協調)

空間
イメージ

言語
発語

根っこの力の土台になる発達の要素②

ボディイメージ

運動コントロール

根っこの力の土台になる発達の要素①

筋力調整

姿勢

目の動き

全ての発達に繋がる感覚(根っこ)

視覚

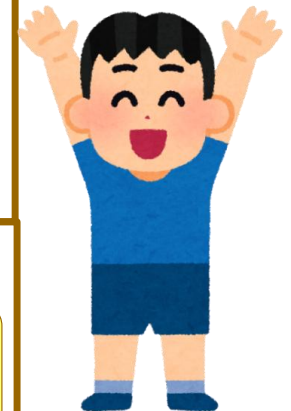
聴覚

触覚

固有覚
(関節や筋・力加減)

前庭覚
(体の傾きや速さ)

子どもの発達



～デコボコが生じた発達～

全ての発達に繋がる感覚(根っこ)の部分に凸凹が生じているため
その上に積み上がる発達の要素がバランスよく積みあがらずに
困りごとが生じている状態



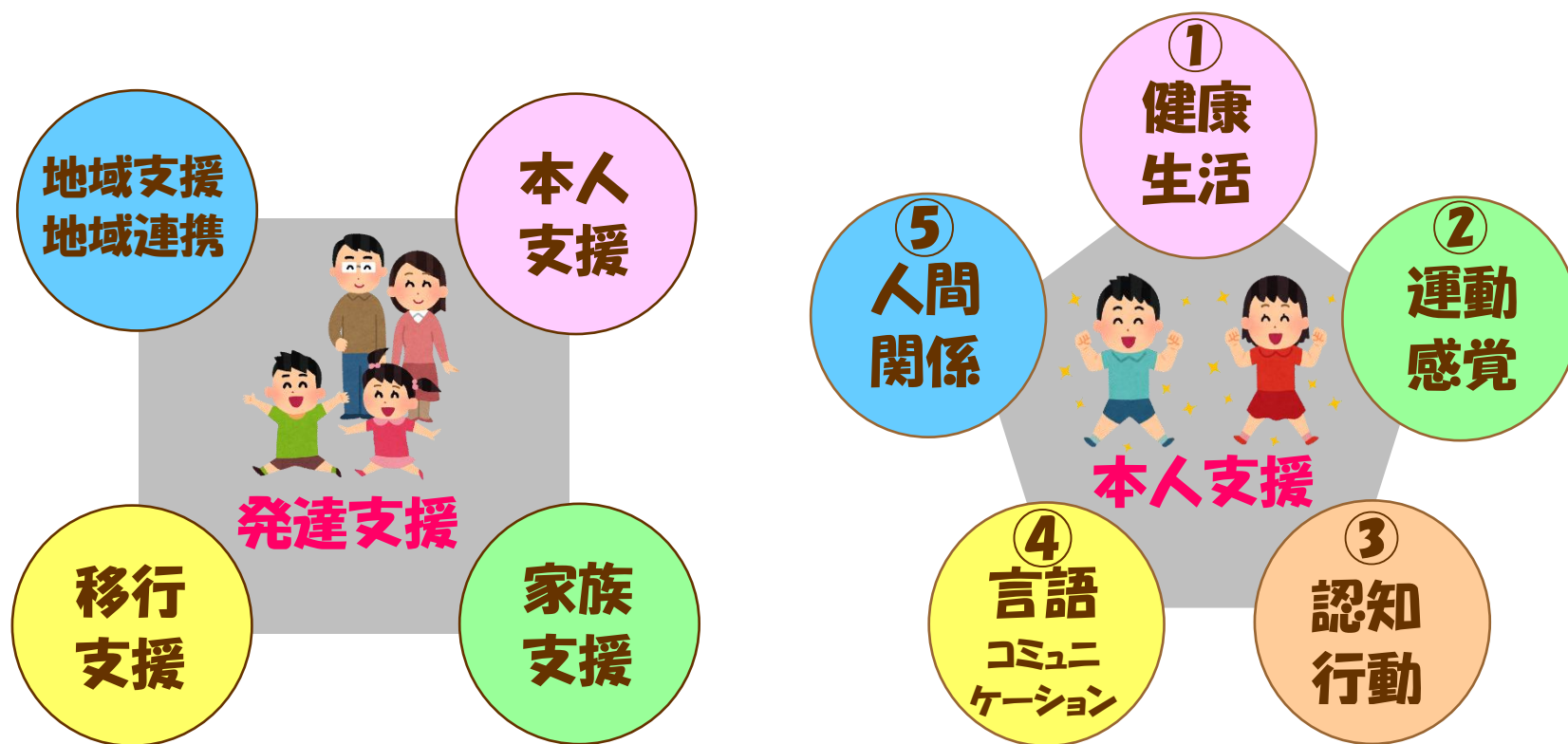


発達支援～5 領域支援～

令和6年7月にこども家庭庁より児童発達支援ガイドラインが全面改訂されました。

具体的には、児童の個々のニーズに応じて「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」を反映した個別支援計画作成し、総合的に支援します。

「本人支援」は、5領域「健康・生活」「運動・感覚」「認知・構想」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の視点を踏まえて、子どもが将来、日常生活や社会生活を円滑に営めるようにすることを目標としました。 ※こども家庭庁「児童発達支援ガイドライン」令和6年7月参照





支援プログラム～本人支援～①健康・生活

◆健康状態の把握と対応

- 来所時の体調確認（適時体温測定）
- 衣類調整の声掛け
- 環境調整（室温・湿度・換気等）
- 体調不良時の対応
- 怪我への対応
- 安全への配慮



◆感染症予防対策

- 手洗い・うがい
来所時・排泄後・おやつ前（※放デイのみ）等に習慣化します。設備のペーパータオルや自分のハンカチ（※放デイのみ）で拭く練習を実施。
- 手指消毒（感染症流行時）
- マスクの着用（咳エチケット）
- 鼻のかみかた等（保健指導含む）



◆トイレトレーニング

利用者の特性に応じ、ひとりでトイレを使用できることを目標に視覚情報や時間の提示をし、トイレトレーニングの支援を実施します。



◆生活環境の調整

利用者の特性に配慮し、スケジュールの可視化やお約束やルール等の注意事項の掲示等の配慮を実施します。



◆準備・片付け・整理整頓・掃除

- 自分の荷物の管理、カリキュラムの準備や片付けがひとりでできるよう支援していきます。
- 生活環境をきれいに保ちながら過ごすという習慣化のため、掃除スキルの向上を図るとともに自分が利用した場所に対するマナーを学ぶ機会としています。



◆はじまりの会・終わりの会

- 活動の開始前・終了時に実施することでメリハリのリズムをつけます。
- 挨拶の練習や習慣化、返事の練習等を支援します。



◆LST（ライフスキルトレーニング）

- 絵本やペープサート、パネルシアター等を通して生活していく上で必要なスキルを学ぶ支援を実施します。
- 買い物等の体験カリキュラムを通して、外出・行動手段・金銭感覚自己選択等を学ぶ機会を支援します。



◆防犯訓練・避難訓練

- 火災や地震等の災害を想定した避難訓練の実施
- 不審者を対応とした防犯訓練を実施





支援プログラム～本人支援～②運動・感覚「感覚統合療育」

◆模倣あそび

掛け声や音楽、スタッフの見本に合わせて体を動かし、目と手の協調運動などを取り入れ、体の複数の部分を同時に使うような動きを行い、コントロールするなど感覚統合の発達を促します。



◆体を使ったゲーム

●雑巾がけリレーや風船遊び等、道具と体を使った遊びを通して、力の入れ方や力加減等を体感する支援を実施します。

●ボール遊び等を通して、体幹を鍛え、姿勢の維持や動作の安定ができるよう支援します。



◆運動活動（サーキット）

バランス能力や体幹を鍛えながら、基本的動作の立つ・渡る・歩く・這う動作を養えるよう支援します。運動活動を通して感覚統合を促します。



◆感覚特性への対応

●感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を実施します。

●五感の活用できるカリキュラムを実施します。





支援プログラム～本人支援～③認知・行動

◆「感覚の活用」

手遊びうたやリズム遊び、パネルシアター等を通して、視覚・聴覚・触覚感覚を活用して、感覚からの情報を取得し、認知機能の発達を促す支援を実施します。また、取得した情報を的確な判断や行動に繋げることができるよう支援を実施します。



◆概念の形式

個別活動やテーブル活動等の課題を通して、物の機能や属性、形・色・音が変化する様子、大小・数・重さ・空間・時間等の概念の形成を図ることにより、認知や行動の手がかりとして活用できるよう支援を実施します。



◆SST（ソーシャルスキルトレーニング）

絵本や支援カード、小集団遊び等の SST（ソーシャルスキルトレーニング）を通して、感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防および適正行動への対応を支援します。



◆認知特性への対応

一人一人の認知の特性を理解し、それらを踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるようにするとともに、自己の感覚の過敏さや認知の偏り等の特性について理解し、適切に対応できるよう支援します。





支援プログラム～本人支援～④言語・コミュニケーション

◆パネルシアター・絵本・うた

●話の途中で応答したり、歌ったり踊ったりすることで自然と積極性、話す力を引き出します。

●歌や絵本に含まれる様々な言葉の意味に触れることで、言葉や物の名前を覚え、語彙力を高めます。また、自分なりにイメージを膨らませることで心情を豊かにします。



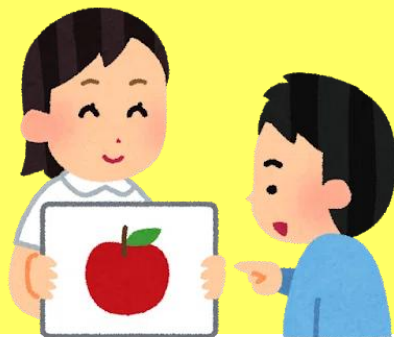
◆SST（ソーシャルスキルトレーニング）

運動活動やゲーム等の小集団活動を通して、カリキュラムと一緒に参加することで、相手と同じものに注意を向け、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を実施します。



◆支援ツールの活用

発達段階や特性に応じて、絵カード等の支援ツールを活用したコミュニケーションの支援を実施することで、自分の意思を伝える力とコミュニケーション能力の向上をめざします。



◆はじまりの会・おわりの会

●はじまりの会では、名前を呼んで出席をとり、今日のスケジュールの流れを発表したり、お約束を確認し、一斉指示や個別指示のコミュニケーションを図ります。

●おわりの会では、今日の振り返りや帰る準備等の流れについて発表し、一斉指示や個別指示のコミュニケーションを図ります。





支援プログラム～本人支援～⑤人間関係・社会性

◆模倣行動の支援

●模倣遊びやリトミック等を通して、スタッフの動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援します。

●運動活動や小集団活動等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を促します。



◆協同遊びの支援

SST(ソーシャルスキルトレーニング)カリキュラムから、一人遊びから並行遊びへ、スタッフが介入して役割分担やルールを守って遊ぶ共同活動を通して徐々に社会性の発達を支援します。

●ルールや順番を守って一緒に行動するカリキュラムを実施することで、社会性を身につけられるよう支援します。



◆仲間づくり・集団参加

カリキュラムの流れを通して、小集団活動に参加するための手順やルールを理解し、互いの希望に応じて活動参加ができるよう、相互理解や互いの存在を認め合いながら仲間づくりにつながる支援を実施します。



◆安心の基地

●環境に対する安心感・信頼感、他者に対する信頼感、自分に対する信頼感を育めるよう支援します。

●情緒の安定が図れた生活が送れるよう、支援します。





支援プログラム～家族支援・移行支援・地域支援・地域連携～

◆家族支援◆

- 送迎時や HUG のサービス提供記録を通してお子さんの状況について情報共有をします。
- 定期的または必要時に面談等で個別の相談援助を実施します。（家族支援加算Ⅰ）
- 定期的な療育参観や親子イベント・保護者交流会等の行事を通して交流を図り、連携していきます。（子育てサポート加算・家族支援加算Ⅱ）



◆移行支援◆

- 【児発クラス】
- 在籍保育所等と定期的に連携会議を実施し、本児の課題や支援方法について情報共有し、よりよい支援に繋がります。（関係機関連携加算Ⅰ・Ⅱ）
- 就学前に就学先小学校との間で連携会議を実施し、本児の家族状況・課題・支援方法について情報共有を行うとともに移行に向けて連携を図っていきます。（関係機関連携加算Ⅰ・Ⅱ）
- 【放デイクラス】
- ◆在籍学校等関係機関と連携をしていきます。必要に応じて連携会議を実施。本児の課題や支援方法について情報共有し、よりよい支援に繋がります。



◆地域支援・地域連携◆

- 各関係機関からの情報に基づき、情報連携や調整、具体的な場面での子どもとの関わり方のポイント等の支援方法、環境調整について市役所を含む地域関係機関との連携を図ります。
- 必要時、身体状況の把握や対応等、支援方法についてかかりつけ医療機関や地域児童発達支援センター等との連携を図ります。
- 関係機関との連携会議に参加します。（関係機関連携加算Ⅰ）



営業日時

◆営業日：月曜日から金曜日

※土日・祝日・お盆・年末年始はお休みです。

※イベントは休日に実施することがあります。



◆営業時間

【児童発達支援】

・めばえ・つぼみクラス（4才児以下） 9：45～11：25

・つぼみ・わかばクラス（4・5才児） 13：05～14：45

【放課後等デイサービス】 平 日 15：00～18：00

長期休暇 11：00～18：00

【保育所等訪問支援】 10：00～12：00

◆送迎 あり ※送迎範囲は要相談





1日の流れ

※ LST（ライフスキルトレーニング）…日常生活を生き抜く力や生活スキルを身につけるトレーニング

※ SST（ソーシャルスキルトレーニング）…対人関係や社会に必要なスキルを身につけるトレーニング

◆児発：めばえ・わかば◆

09：45 送迎到着
LST（排泄・活動準備）

10：00 始まりの会



10：05 模倣遊びまたは音楽

10：10 運動活動

10：20 絵本・パネルシアター

10：25 個別活動またはテーブル活動

10：50 【めばえ】SST①
【わかば】SST②→SST①

11：05 終わりの会・スタンプカード

11：10 LST（排泄・身支度）

11：25 出発



◆児発：わかば・つぼみ◆

13：05 送迎到着
LST（排泄・活動準備）

13：15 始まりの会



13：20 模倣遊びまたは音楽

13：25 個別活動またはテーブル活動

13：50 SST①

14：05 SST②



14：15 運動活動

14：25 絵本・パネルシアター

14：30 終わりの会・スタンプカード

14：35 LST（排泄・身支度）

14：45 出発

◆放デイ：かいか◆

15：00 送迎到着
～ LST（排泄・活動準備）

15：40 始まりの会

15：45 おやつ



16：00 自立学習支援

16：30 小集団活動（SST または運動活動）

16：45 個別活動またはテーブル活動

17：30 終わりの会
LST（排泄・身支度）

～ 自立学習支援

お迎え



※ SST①…玩具遊びを通して、挨拶や他児との関わり等のコミュニケーションを学びます。

※ SST②…ゲーム等の小集団遊びを通して、ルールを守ることや感情の自己コントロールを学びます。



職員の質の向上に資する取り組み

- ① 発達や障害に関する外部研修への職員派遣・オンライン研修の参加
- ② 職場内研修の実施：危機管理研修・BCP 訓練・避難訓練等
（子どもの人権・事故防止・安全管理・感染症予防対策等）
- ③ 関係機関主催の研修への職員派遣（教育・保育・障害）
- ④ 事業所自己評価アンケート・保護者自己評価アンケートの実施
- ⑤ 関係機関との合同研修



主な行事

- ◆ 親子イベント （親子工作・親子ふれあい遊び 等）
- ◆ 保護者交流会
- ◆ 療育参観
- ◆ 社会科見学・体験
- ◆ 地域イベントの参加

